

住まい

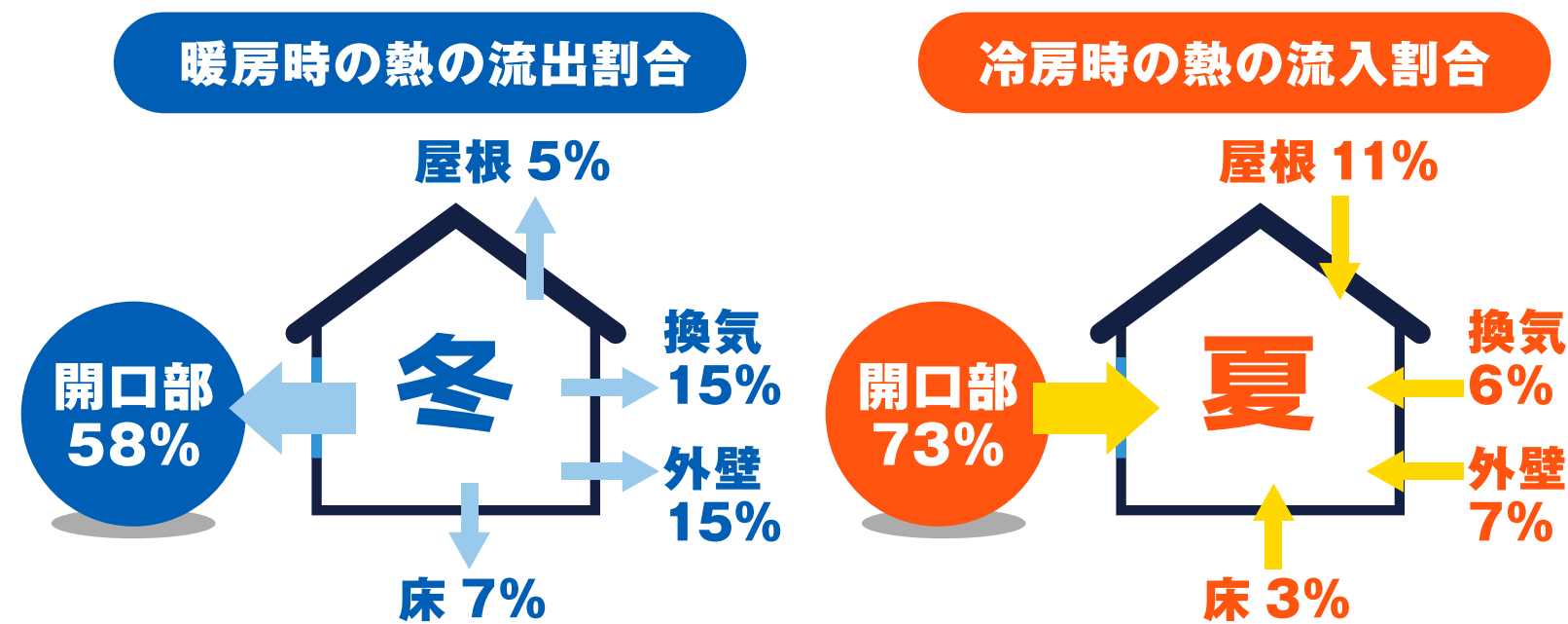
家自体の性能をアップすれば 住むだけで節約とエコが両方叶う。

「エコな暮らしをするためにエアコンの使用は控える。」そんな努力をしていませんか？
実は、家の性能を良くすることで、エコでありながら快適で健康に過ごせる住まいが実現できます。
快適な住まいで、暮らすだけで毎日が「デコ活」に！

何ができるかな？それをするとなんが良いの？

窓やドアを断熱性の高いものに

外気の影響が一番受ける家の開口部（窓やドア）から対策！



入浴事故リスクの低減

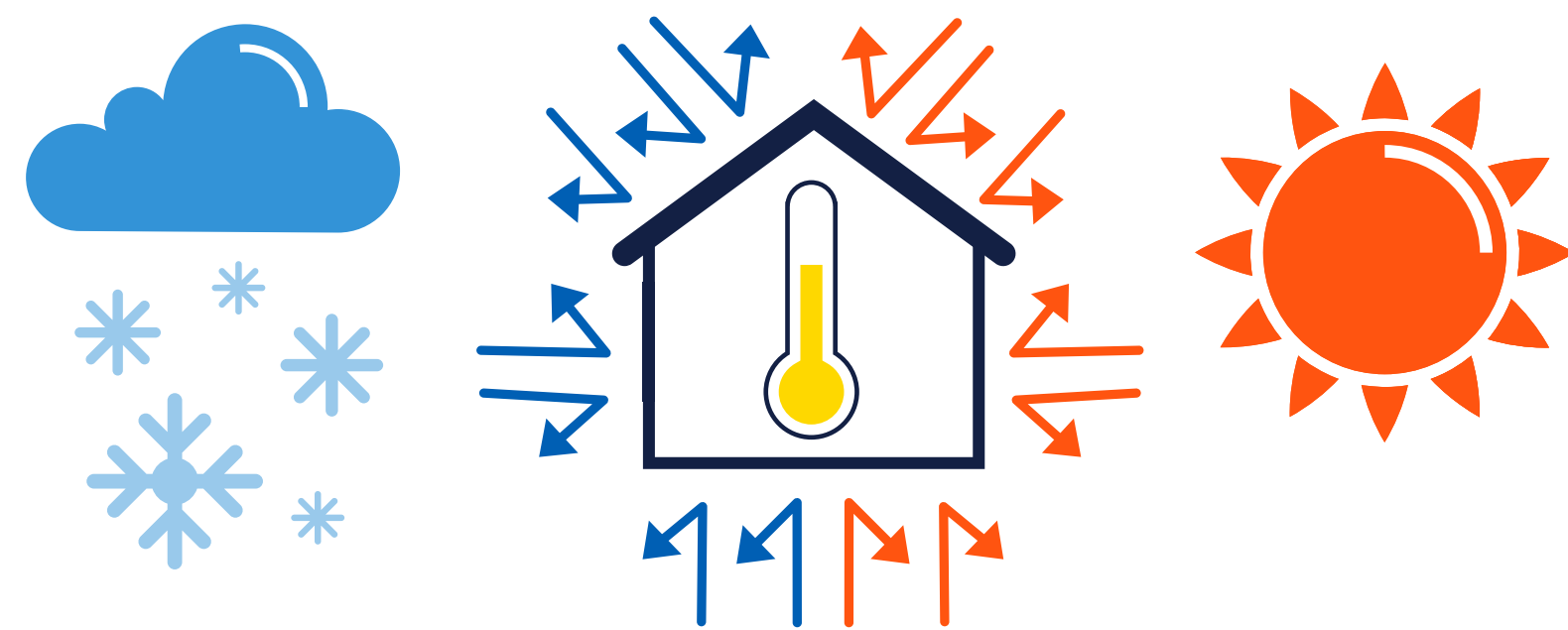
冬の入浴事故は部屋の温度差が引き起こすヒートショックの影響が大きいと推察されています。断熱性能アップで部屋ごとの寒暖差を小さくすれば、ヒートショックのリスク軽減につながります。

結露の防止でカビやダニの発生を防ぐ

窓の断熱性を高めることはカビやダニの発生原因ともなる結露の低減にも効果的です。

壁、屋根、床の断熱・気密性をUP

冷暖房費や快適さが格段に変わる！

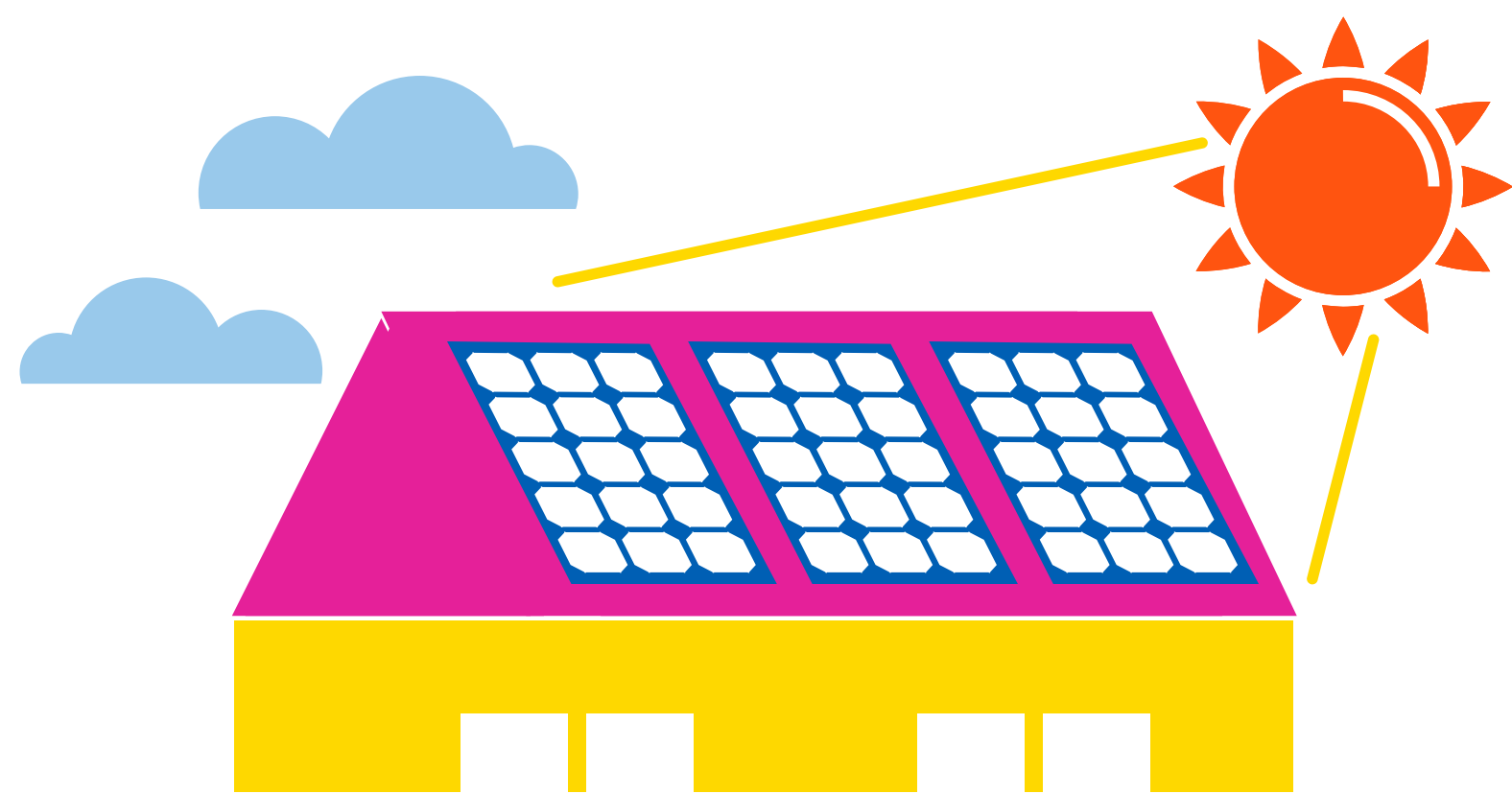


騒音や音漏れの低減にも

気密性が高い住宅は、熱の出入りだけでなく音の出入りも防ぐため、高い防音効果が得られます。これにより、特に都市部での生活の質が向上し、よりリラックスした静かな住環境を実現できます。

太陽光発電でエコな電気をつくる

エコはもちろん、余った電気は販売も可能



電気代を大幅削減！余ったら販売も！

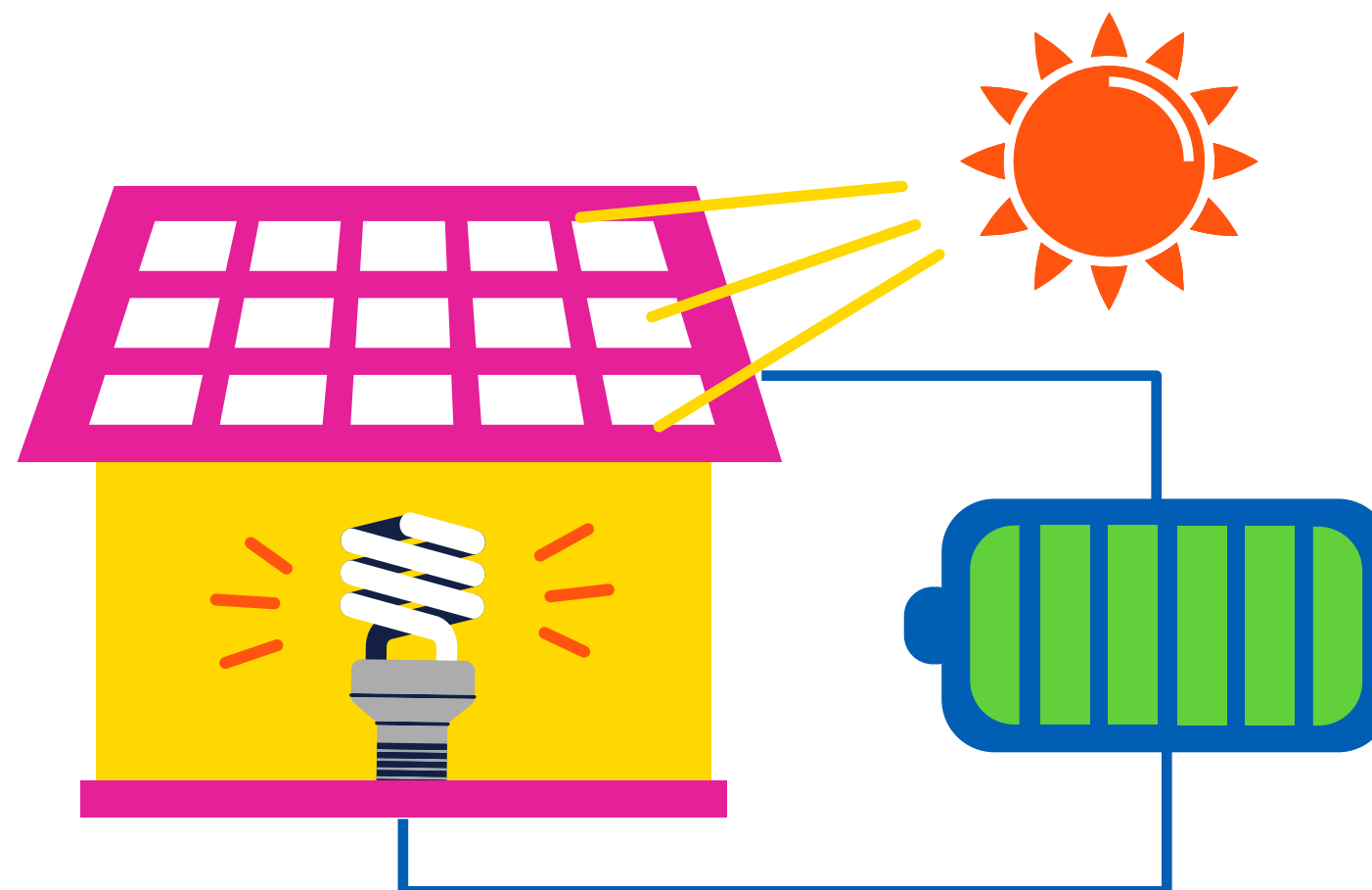
太陽光発電設備を導入して電力を自家消費することにより、光熱費を大幅に削減できます。発電した電力が余ったら、電力会社に売ることも可能。追加の収入を得ることができ、経済的なメリットも。

災害時の停電への備えにも

太陽光発電設備は日光があれば自家発電できるため、災害時の非常用電源として備えることで安心感が生まれます。

蓄電池で電気を貯める

発電した電気をもれなく活用！



発電した電気の自家消費で節約に

太陽光発電で余った電気を貯めておけば、発電できない夜間にも使うことができます。電気料金が高いときは、売電よりも自家消費の方が光熱費節約になることがあります。

太陽光発電を災害時にもっと有効利用

停電時にも使える太陽光発電ですが、それはあくまで日光が降り注ぐ日中のみ。蓄電池を組み合わせれば日中に余った電気をいつでも使えます。災害対策の安心感も更にUP。

